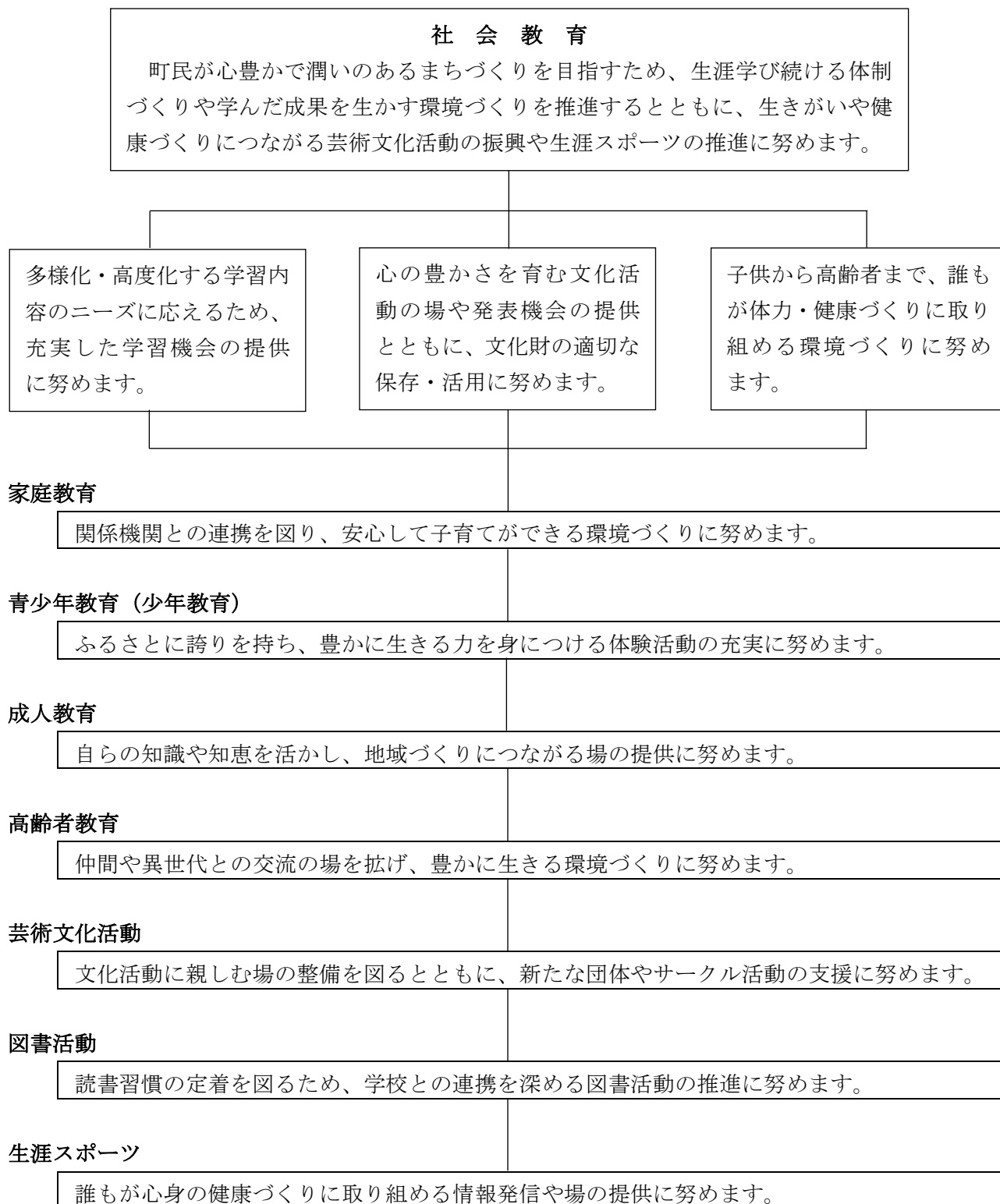


# 第7次 豊浦町社会教育中期計画

[平成30年度～平成34年度]

豊浦町教育委員会

## I 社会教育中期計画の構造図



## 1 家庭教育

### (1) 現 状

家庭教育は、すべての教育の出発点であり、子どもが基本的な生活習慣・生活能力・豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断など基本的倫理観、自立心や自制心・社会的マナーなどを身に付ける上で重要な役割を果たすものです。しかし、家庭環境の多様化や地域社会の変化により、親子の育ちを支える人間関係が弱まり、子育てについての悩みや不安を多くの家庭が抱え、子どもの社会性や自立心などの育ちをめぐる問題が生じています。

今後の家庭教育支援は、多様化する保護者ニーズに応え、諸課題の解決に向けた学びを支援するとともに、その学びを通して保護者同士が繋がり、更に地域とも繋がりを持てるような事業を推進し、保護者が安心して子育てできる環境づくりの充実を図ります。

### (2) 具体的方策

推進事項	具体的な方策	具体的事例
家庭の教育力を高める学習機会の拡充	① 総合保険福祉施設・認定子ども園と連携し、子育て中の保護者を対象とした学習機会の拡充に努めます。 ② 地域の自然を生かし、親子でのふれあいを深める体験活動の場や機会の拡充に努めます。 ③ 子育ての知恵を継承するために、異世代との交流を図る場や機会の拡充に努めます。	子育て支援講座  子ども会活動事業  とよら大学「こどもたちとの交流」
子育てについての啓発活動や相談活動の充実	① 広報誌等を活用し、子どもの豊かな心を育てる体験活動に関する情報提供の充実に努めます。 ② 総合保健福祉施設等との連携を図り、子育てに関する啓発活動や情報提供の充実に努めます。	生涯学習だより 「つばさ」発行 子育て支援講座
子育て支援に向けたネットワークづくりの推進	① 学校と連携を図り、保護者を対象に自らの役割を果たすために何が必要かを学ぶ機会の拡充に努めます。 ② 学校・総合保険福祉施設等との連携を図り、放課後の子ども達の居場所づくりを通しての子育て支援事業の充実に努めます。 ③ 総合保険福祉施設と連携を図り、乳幼児と保護者を対象とした絵本の読み聞かせにより、関係団体や人材のネットワークづくりに努めます。	PTA 研修会  放課後子供教室  ブックスタート

## 2 青少年教育

### (1) 現 状

青少年教育は、学校・家庭・地域社会が連携し、さまざまな体験の中で知識や生活の知恵を身に付けさせ、子どもの健全な成長にかかわることが大切です。しかし今日、少子化、核家族化、コミュニケーション能力の低下、テレビやゲームへの依存による子どもを取り巻く環境の変化、更にはSNS(ソーシャルネットワークサービス)に代表されるようなメディアを通じた新たなコミュニケーションツールが子どもの成長に影響を及ぼしていることが問題となっています。

このような中であって、本町では、「放課後子供教室」や「ジュニアスポーツ」、「わくわく体験隊」などを開催し、各種の体験活動や異年齢交流を通して、青少年の健全育成に取り組んでいますが、今後は、ふるさとを愛し心豊かな青少年を育成するため、地域の特性を生かした体験活動の充実や地域と一体となった活動の推進を図る必要があります。

### (2) 具体的方策

推進事項	具体的な方策	具体的事例
地域の特性を生かした体験活動の充実	① 郷土の良さを発見し、地域の教育資源を活用した体験活動の機会の拡充に努めます。 ② 異年齢や世代間交流のできる場や機会の拡充に努めます。 ③ 毎月第2土曜日を「家庭の日」と定め、親子で行うふれあい活動を推進するなど、心豊かな家庭づくりの場や機会の拡充に努めます。	公民館講座  放課後子供教室  体育施設の無料開放
地域づくりにつながる社会参加活動の推進	① 自らを高め、うるおいのある地域づくりにつながるボランティア活動の場や機会の拡充に努めます。 ② 青少年が積極的に参加できる地域行事や事業の拡充に努めます。 ③ 学校や家庭、地域との連携による体験活動の充実に努めます。	子ども会清掃活動  わくわく体験事業  放課後子供教室
青少年を育む環境づくりの推進	① 関係機関・団体等との連携・協力により、少年団活動や青少年の活動を支援に努めます。 ② 子ども会やスポーツ少年団の活性化を図る指導者やリーダーの育成に努めます。 ③ 「あいさつ運動」などを推進し、地域社会が一体となった青少年健全育成活動に努めます。	社会教育関係団体  ジュニアリーダーコース  登下校時の見守りなど

### 3 成人教育

#### (1) 現 状

成人教育は、地域の未来を創造していく存在であるということを念頭に、異業種・異年齢・異世代の交流が自己啓発・向上のために不可欠です。本町では、「各種公民館講座」や「研修会派遣事業」など、学習機会の拡充と団体活動やサークル活動の支援に取り組んでいます。

今後は、ボランティア活動などを通して地域に根ざした社会参加の推進や他者との関わりの中から自己を見つめ直し、地域を見つめ直す機会や学習活動の充実に努める必要があります。

#### (2) 具体的方策

推進事項	具体的な方策	具体的事例
地域に根ざした学習機会の拡充と社会参加活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 社会の変化に対応した学習ニーズに応え、地域づくりにつながる学習機会の拡充に努めます。</li> <li>② 地域づくりやまちづくり事業などへの積極的な社会参加活動を推進します。</li> <li>③ ボランティア活動の推進を図り、その成果を生かす場や機会の拡充に努めます。</li> <li>④ 男女共同参画社会をめざす学習機会の拡充に努めます。</li> <li>⑤ PTA活動の活性化を図り、地域社会が一体となって地域の教育環境づくりに努めます。</li> <li>⑥ 自己を高める学習活動やボランティア活動の啓発・情報提供を行い、積極的に参加できる場や機会の拡充に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館講座</li> <li>植樹運動</li> <li>昆布岳登山など</li> <li>女性リーダー研修</li> <li>PTA研修会など</li> <li>生涯学習だより、各種行事案内など</li> </ul>
生き方を高める学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 多様化・高度化する学習ニーズに対応した学習プログラムを開発し、学習機会の拡充に努めます。</li> <li>② 情報化時代に対応したITやマルチメディアに関する学習機会の拡充に努めます。</li> <li>③ 団体・サークル活動の活性化を図るため、指導者の養成や発掘を行い、活動への支援に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館講座</li> <li>公民館講座</li> <li>体育協会、文化協会との連携</li> </ul>

## 4 高齢者教育

### (1) 現 状

高齢化が進む本町において、生涯にわたって活躍するための場や学びの提供が重要となっています。そのような中、活動意欲を持っている高齢者は多いが、地域の中での活躍の場が少ないことなどが理由による孤立化が進んでいます。また高齢者一人一人の置かれている状況の違いから事業参加者の固定化や減少傾向の現状にあります。

このような中において、世代間交流は高齢者の知恵や技能を活かしていく重要な手法のひとつであり、本町では、「とよら大学」や「公民館講座」などを開催し、高齢者が主体的かつ自立して生きること目指し、健康や体力の維持・増進、趣味・教養の向上を図り、社会活動に積極的に参加できるように取り組んでいます。今後は高齢者間の繋がりがづくりを促すような事業を進め、学習した成果や幅広い経験を活かした社会参加活動を促進し、主体的に地域で活躍できる機会を場の提供を図る必要があります。

### (2) 具体的方策

推進事項	具体的な方策	具体的事例
生きがい感を高める学習機会の拡充	① 「とよら大学」などを通して、生きがいに結びつく趣味や教養などの学習機会の拡充に努めます。 ② 老後の暮らしや防犯問題など高齢者の生活課題につながる学習機会の拡充に努めます。 ③ 健康づくりや食生活など健康の維持・増進に関する学習機会の拡充に努めます。	とよら大学  各種安全教室  公民館講座など
経験や学習成果を生かした社会参加活動の推進	① 高齢者の経験や知識、活動の成果などを地域や学校で生かす機会や場の拡充に努めます。 ② 高齢者を地域の伝統文化の継承活動指導者としての支援に努めます。 ③ 高齢者のボランティア活動を推進し、その活動に取り組むサークル等の育成と支援に努めます。	幼稚園、小学校との交流会  高齢者陶芸クラブの出前講座  各小学校における教育活動の支援
高齢社会に対応した学習環境の整備充実	① 総合保健施設と連携した、高齢期の理解や健康の維持増進に努めます。 ② 関係機関と連携し、高齢者のニーズに対応した情報提供や相談体制の整備充実努めます。	とよら大学  校長会、教頭会の雑学

## 5 芸術文化活動(芸術文化・文化財・自然環境教育)

### (1) 現 状

芸術文化活動の振興は、町民に感動や生きる喜びをもたらし、心の豊かさや潤いのある生活に資するもので、地域創生のために極めて重要です。そのために、施設の管理・運営、活用全般にわたり地域住民自らが主体となって行動することが求められています。また、高齢化が進む各種団体・サークルの現状において、子どもから大人までが主体的に活動するための担い手の育成と機会や場の創造が重要であるとともに、文化活動のすそ野を広げるための取り組みが課題となっています。

一方、若い世代の中から新たな感覚で芸術文化・文化財・自然環境教育に取り組む活動も見られます。今、改めて、本当の豊かさを町民自らが考え、活動できる環境づくりが求められています。

### (2) 具体的方策、

推進事項	具体的な方策	具体的事例
芸術文化鑑賞・創作発表活動の促進と充実、文化財の保存活用の促進	① 講演会、講習会等の学習活動の機会の充実や広報・啓発に努めます。 ② 他市町との情報交換・発表の場の拡大連携、協力を努めます。 ③ 団体組織間の連携強化と青少年の文化活動支援に努めます。 ④ 文化財の保存・保護と活用に努めます。	公民館講座 児童生徒芸術鑑賞 胆振芸術祭 ふれあい広場健康まつり in 公民館 「豊浦の文化財」刊行
文化団体の育成、組織の強化	① 各団体のリーダーの育成支援に努めます。 ② 各団体間の連携・交流と活動情報の広報促進に努めます。 ③ 近隣市町の団体との連携・協力の支援に努めます。 ④ 民間の文化・芸術鑑賞推進団体との連携・支援に努めます。	各種研修会 ふれあい広場健康まつり in 公民館 胆振芸術祭 芸術鑑賞会
指導者の育成と人材活用	① 文化教室・研修会・講演会等の活用によって、指導者の育成と参加意欲の促進に努めます。 ② 伝承芸能、伝統文化の後継者の育成と啓発に努めます。 ③ 文化財の活用指導員やボランティアの育成に努めます。	公民館講座 とようら音頭 南部神楽保存会など 各種講演会、施設の維持管理など
文化施設活用	① 既存施設の活用と遊休施設の有効利用に努めます。 ② 文化財収蔵活用施設の整備に努めます。 ③ 地域の施設の有機的連携活用に努めます。 ④ 施設利用情報の広報に努めます。	旧礼文華中学校の活用 山梨の出前講座、小幌探索会 昆布岳登山など 各施設パンフレット

## 6 図書活動

### (1) 現 状

急速に進む高度情報社会への対応には、あらゆる世代に対する多様な学習の場と、必要な知識や情報が適切に入手できる環境の整備が求められています。また、ゲームや携帯電話をはじめとした情報機器、さらにはインターネットなどの多様なメディアの発達による生活環境の中で、子どもたちには、豊かな心を育てるための情報収集・活用能力や読解力を身に付けることが求められ、幼児期からの読書習慣の形成や読書環境の整備が重要とされています。

このような中であって、本町では、年間約1,000冊の新刊図書を購入し、各小学校への移動図書や幼児を対象としたブックスタート事業の開催、さらには、読み聞かせボランティアの協力などによって、町民への読書活動の普及・啓発活動に努めています。今後は、地域の情報センターとしてさらなる機能の充実を図る必要があります。

### (2) 具体的方策

推進事項	具体的な方策	具体的事例
家庭・地域における読書活動の推進	① ブックスタート事業を通して、子どもへの読み聞かせの大切さや、読書を通しての家族の団らんを奨励し、読み聞かせボランティアの育成や団体の支援に努めます。 ② 「子ども読書の日」(4月23日)及び「こどもの読書週間」(4月23日～5月12日)の普及・啓発を図るため、広報活動の充実に努めます。	読み聞かせボランティア  図書通信「リーぶる」の発行
学校と連携した読書活動の推進	① 施設や各小学校との連携を図り、移動図書の充実に努めます。 ② 児童生徒の読書習慣の定着及びアウトメディアの取組を推進するため、担当教諭等と連携し学校における読書環境の整備を支援します。	移動図書  道立図書館市町村活動支援事業など
地域の情報センターとしての整備・充実	① 利便性の向上を目指して、図書資料の整備や情報提供に努めます。 ② DVDなど、映像メディアを活用した学習ニーズに対応するため、図書室の情報化に努めます。 ③ 他の図書館との連携を図り、機能の充実に努めます。	図書ボランティア  図書室の改善など  道立図書館など



## 7 生涯スポーツの活動

### (1) 現 状

急速に進む地域の人口減や少子高齢化はスポーツ人口の減少、スポーツ活動の停滞、スポーツ団体会員の固定化を加速させています。こうした中で、高齢者の健康保持や子どもの体力増進、地域社会の連帯感を育てる上でスポーツ・レクリエーション活動の役割が重視されています。本町においては、「生涯スポーツ」「町民皆スポーツ」を目指し、各体育施設の整備・充実を図り、各種大会や教室の開催、指導者の育成に努めてきました。また、スポーツ少年団・学校クラブ活動の全道・全国大会出場等に対し、支援の充実も図っています。

今後、生涯にわたり活躍し、市や幸せな人生を送るためには、心身の健康維持が基盤となります。特に子どもの体力向上や、高齢者の健康づくりに加え、町民ニーズを把握したうえでの取組の実施を推進します。

### (2) 具体的方策

推進事項	具体的な方策	具体的事例
健康・体力づくりに対する意識啓発・意識改革を促す情報提供と施設整備の充実	① 「生涯スポーツ」「町民皆スポーツ」の拡充と、各種スポーツクラブの支援や各種スポーツ・レクリエーション活動に対応できる施設整備及び用具の充実に努めます。 ② 地域スポーツの場として、地域に合った学校体育施設の開放事業を実施します。	体育協会との連携 ジュニアスポーツクラブ 学校開放事業
指導者の育成とスポーツ・レクリエーション活動の参加促進	① 指導者養成講習会・研修会への参加を促進し、各年齢層に対応できる指導者の育成を図ります。 ② スポーツ団体・スポーツ推進委員と連携し、指導者登録や人材の積極的活用による指導体制の強化に努めます。 ③ 地域の特性を生かし、体力やニーズにあった各種スポーツ教室や軽スポーツを取り入れた健康づくりの奨励に努めます。	スポーツ少年団との連携・支援 各指導者養成研修などへの参加 たま入れ大会、ニュースポーツの普及など
「子どもの体力向上」と「総合型地域スポーツクラブ」活動促進	① 親子で参加できる、遊びを取り入れた、スポーツ・レクリエーション活動の推進に努めます。 ② 生涯スポーツ社会の実現に向け、だれもが自主的・主体的に参加できる、「総合型地域スポーツクラブ」の推進に努めます。	自治会対抗バレー たま入れ大会、ニュースポーツの普及 ジュニアスポーツクラブ 山人あそび隊
競技力の向上と活動体制の充実・強化	① 各種スポーツ団体の活性化のためリーダー育成に努めます。 ② 上位大会出場への支援体制の充実に努めます。	各団体への協力・支援 スポーツ活動助成金